

農業会議だより

第15号(平成30年9月) 発行：一般社団法人佐賀県農業会議

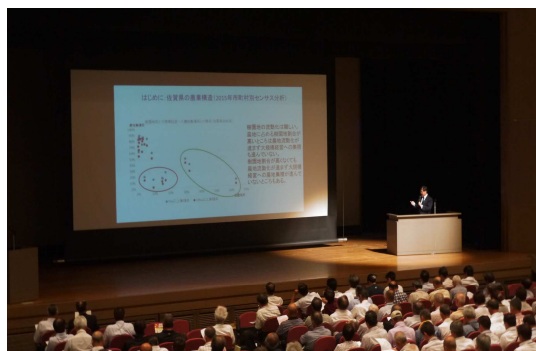
1. 平成30年度第1回農業委員・推進委員研修会を開催
2. 白石町における農地利用の最適化の取り組み事例
3. さが農業経営相談所を開設
4. 簿記講習会を開催
5. 農業者年金の加入推進
6. 全国農業新聞の普及推進
7. 常設審議委員会の結果(7・8月)、行事予定)
8. 行事予定

1. 平成30年度第1回農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を開催しました

農業会議は、本年7月に全ての市町が新体制に移行したことから、農業委員及び農地利用最適化推進委員との連携をより一層密にし、農業委員会業務の円滑な推進を図る目的に、7月25日に白石町において「第1回農業委員・農地利用最適化推進委員研修会」を開催。県内各市町から約600名が出席されました。

研修会では「農業委員・農地利用最適化推進委員の連携による農地集積・集約化の推進について」と題して、東京大学大学院の安藤光義氏が講演。改正法3年目を迎え、農業委員会の運営方向について説かれ、「推進委員だけでは農地利用の最適化の推進はできない。農業委員と推進委員との協力関係をどのように整理・構築するかがポイントになる」、また、「人・農地プラン(地元での話し合い)への積極的な関与が大切で、会合があれば顔を出して状況を把握し、農地利用調整の働き掛けを行って欲しい」と呼びかけられました。

さらに、太良町でアスパラを経営されているA-n-o-k-e-r(ええのうカー)代表の安東浩太郎氏に、平成25年にIターン就農された経緯や地域とのつながりの大切さについて語っていただきました。安東氏は、ミカン園を再生・整備して営農開始。施肥条件の検討など試行錯誤を重ね多良岳果樹園育ち“森のアスパラ”としてブランド化されました。また、地域活性化に向けた食育の取り組み(たべるえほん)や新規就農希望者の研修受け入れ等について、自らの取り組みを語られました。



2. 白石町における農地利用の最適化の取り組み

【農業委員会の体制】（平成29年7月20日移行）

○旧体制：農業委員 37人

○新体制：農業委員 37人 事務局7人

（1）農地利用の最適化の推進の取り組み

○担い手への農地利用の集積・集約化については、あっせんによる農地の貸借、売買を推進しています。

→ 離農・規模縮小希望者と拡大希望者への農地の利用調整に向け、農業委員が地道に農業者の声を拾い、日常の相談活動に力を入れています。



地図を活用し、農地の利用集積について検討

○遊休農地の発生防止・解消のため、年2回(7月、2月) 農地の利用状況調査を実施しています。

→ 遊休農地の増加が懸念される中、農地の遊休化を未然に防止するとともに、地域農業の担い手への利用集積を推進しています。

○新規参入の促進については、町農業振興課と連携し、新規就農者の推進を行っています。

※新規就農者の推移

H25(25人)、H26(27人)、H27(34人)、H28(27人)、H29(17人)

※別段面積の設定 50a（町内全域）

白石町認定新規就農者の認定を受けている者に限り、10aに設定

（2）活動の成果

認定農業者及び集落営農法人など担い手へのあっせんによる農地集積活動の結果、平成29年度末の集積率は96.2%(平成28年度末95.9%)となりました。(参考：集積率 県平均69.4%)

（3）川崎会長のコメント

川崎会長は、「農地を守り、担い手を確保するという使命を果たすため、日々の相談活動を充実し、地域からより一層、信頼される農業委員会活動を展開していきたい」と語られています。

3. さが農業経営相談所を開設

県担い手育成総合支援協議会（事務局：農業会議）は8月1日、農業経営の法人化や規模拡大など、農業に関するさまざまな相談に対応し、農家の経営支援を行う「さが農業経営相談所」を開所しました。（写真）

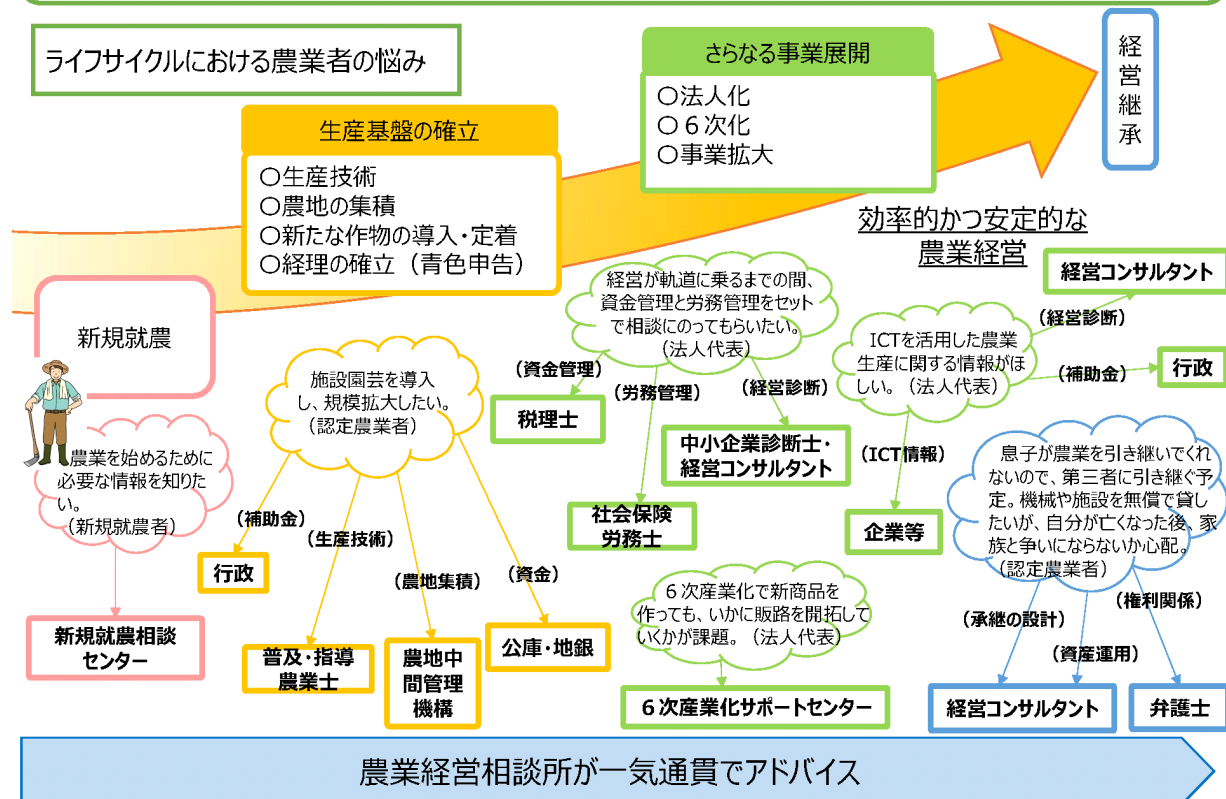
この相談所では、相談内容をもとに支援チームをつくり、専門家派遣などを行い、担い手の効率的かつ安定的な農業経営の確立や経営基盤の強化等を支援します。

相談受付をはじめ、経営改善に関する相談会・研修会の開催も予定しています。



農業会議:坂井会長(左)と
県農産課:池田副部長(右)

経営意欲のある農業者が創意工夫を生かした農業経営を展開できるよう、円滑な経営継承など農業者の経営課題に対し関係機関と連携して適切にアドバイスする農業経営相談体制を整備するとともに、経営相談、専門家派遣等の取組を支援し、法人化等を促進。



農水省による相談所イメージ（農水省HPより）

農業経営者(個人・法人)のいろいろな悩みを解決!!

さが農業経営相談所 OPEN!

平成30年8月1日より開所

相談
無料

専門家による支援チームが解決します!!

法人化
したい

後継者を
育てたい

6次産業化に
取り組みたい

複式簿記を
教えて
もらいたい

資金繰りの
相談を
したい

従業員の
人材育成について
相談したい

相続税に
ついて
教えてほしい

規模拡大
したい

農地集積を
したい

販路を
拡大したい

出荷販売
方法を
相談したい

さが農業経営相談所

○多様な相談内容に対応 ○課題毎に専門家が連携した支援チームを構築

農業系団体 (コーディネーター)

佐賀県担い手育成総合支援協議会

- 農業会議(窓口事務局)
- 佐賀県
- JA中央会
- JA信連
- JAさが
- 農業公社
- 農業共済連
- 政策金融公庫
- 農業法人協会

● 地域産業支援センター
(支援機関)

商工系団体

普及組織

相談

相談者

派遣

専門家 支援チーム

※農業者の相談内容に応じた、オーダーメイド型の支援チーム

税理士

社会保険労務士

中小企業診断士

農業経営
アドバイザー

6次産業化
プランナー
デザイナー
(6次産業化
サポートセンター)

普及員(県)
営農指導員(JA)
農業士(農業者)

[支援実施の流れ]

相談内容の把握

経営診断

専門家派遣[原則3回まで]

お問い合わせ先

さが農業経営相談所(佐賀県担い手育成総合支援協議会)

[事務局] 一般社団法人佐賀県農業会議

佐賀市八丁畷町8-1 佐賀総合庁舎4F

Tel 0952-20-1810

Fax 0952-20-1818

メール sanoukai@sanoukai.jp

平成 年 月 日 () :

相談申込書

ふりがな				法人名・ 組織名	
相談者氏名					
住 所 (所在地)					
連絡先	電 話			FAX	
	携 帯				
	メー ル				
品 目	☐ 米麦作 ☐ 野菜 ☐ 果樹 ☐ 花き ☐ 畜産 ☐ その他()				
経 営 区 分	☐ 個人 ☐ 法人 ☐ 任意組織(団体)				
相 談 項 目	☐ 経営改善に関する事(経営改善・経営診断) ☐ 法人化に関する事(一戸一法人、複数戸法人、集落営農法人) ☐ 事業継承(第三者を含む)、後継者の育成に関する事 ☐ 規模拡大、農地の集積に関する事 ☐ 税(青色申告、相続税等)に関する事 ☐ 雇用、労務管理、社会保険に関する事 ☐ 6次産業化(販売・加工)に関する事 ☐ 補助金、制度融資(スーパーL、近代化等)、農業共済に関する事。 ☐ その他()				
具 体 的 な 相 談 内 容	※必ず記入をお願いします。				

お申込み頂いた後、改めて、さが農業経営相談所よりご連絡させていただきます。

※参加申込書に記載頂いた個人情報の利用に関しては、「個人情報保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守して適正に管理するとともに、本件以外の目的には使用しません。

4. 農業簿記講習会(基礎講座・パソコン活用講座)を開催 ～複式簿記の基礎を学ぶ～

農産物価格の低迷や資材費等が高騰する中、農業経営を改善・発展させるためには、自らの経営を家計から分離し、経営状況を的確に把握・分析することができる複式簿記が必要となります。



また、来年から導入が予定されている収入保険制度につ

いては青色申告が加入要件とされており、青色申告を始めるにあたって複式簿記(正規の簿記)に取り組むことによりメリットが大きくなります。

そこで、農業会議では、経営感覚に優れた農業の担い手を育成・支援するために、市町農業委員会や農業振興関係課、農業改良普及センター等に参加者の募集を依頼し、全5回コース(7/24～8/28)で、複式農業簿記の講習会を開催。複式簿記の基礎を学ぼうと30名が参加されました。

受講者のほとんどが複式簿記未経験者であり、最初は聞き慣れない用語に戸惑いながらも簿記の原理原則から複式簿記の一連の流れについての座学や簿記ソフトによる実践演習を通じ、開始貸借対照表の作成や取引の仕訳、決算修正、決算書の作成などについて習得しました。

今回の講習会を受講された多くの方から「複式簿記によって、自分の経営を再度把握し、今後の経営改善に結び付けたい」、「簿記記帳の結果をもとに作物毎の経営分析をできるようになりたい」等と活発な意見等を寄せていただきました。

農業簿記関係図書



多くの仕訳例を掲載
記帳のイロハから実
務まで網羅した一冊
です多くの仕訳例を
掲載

図書コード 29-11
定価 1,650円
規格 A4・130頁



ソリマチ(株)の農業簿
記ソフト「農業簿記10」
に対応したパソコン簿
記の演習用テキストで
す。

図書コード 28-43
定価 2,880円
規格 A4・163頁

5. 農業者年金の加入推進について

農業者年金制度を知らなかったという人がいないように
制度の普及・推進をお願いします！！

◇農業者の65歳からの平均余命は、男性22年(87歳)、女性27年(92歳)

長い老後生活、国民年金だけでは生活に十分とは言えません。農業者の安定した老後生活のため、国民年金の上乗せである農業者年金への加入を勧めましょう。

農業者年金基金のホームページでは、将来受け取る年金額の試算ができます。

主なメリット

- ・支払った保険料は全額社会保険料控除の対象で、大きな**節税効果**あり
- ・少子高齢化でも安心の「**積立方式・確定拠出型**」制度
- ・要件を満たす担い手には保険料の**国庫補助**あり

○ 平成30年度新規加入目標・実績 ○

(単位：人)

市町名	30年度		達成率 (%)	残り 確保数
	目標	4月～7月		
佐賀市	9	2	22	7
神埼市	2	0	0	2
吉野ヶ里町	1	0	0	1
鳥栖市	1	2	200	達成☆
基山町	1	0	0	1
上峰町	1	0	0	1
みやき町	1	0	0	1
多久市	1	0	0	1
小城市	2	0	0	2
唐津市	15	7	47	8
玄海町	2	3	150	達成☆
伊万里市	5	3	60	2
有田町	1	0	0	1
武雄市	2	0	0	2
大町町	1	2	200	達成☆
江北町	1	0	0	1
白石町	8	2	25	6
鹿島市	4	0	0	4
嬉野市	3	0	0	3
太良町	3	1	33	2
合計	64	22	34	42



6. 全国農業新聞の普及推進について

全国農業新聞 普及推進のお願い

今年度目標部数 1,800 部

目標まであと 343 部

9月現在部数 1,457 部

○農業委員・推進委員 555 名中 511 名 92%が購読中○

《なぜ、全国農業新聞を普及する？》

「情報提供活動」は農業委員・推進委員の役割(農業委員会法)

では、「情報提供活動」とは？

農業者等へ農業経営に役立つ情報を提供、
関連各制度を周知すること

「情報」を伝えて歩くのは、難しいのでは？

全国農業新聞を購読してもらおうと、「情報」が届く！

【佐賀】県北西部に位置する西松浦地区は、ハウス施設を中心に梨などの落葉果樹の栽培が盛ん。近年は、生産者や栽培面積の減少が続いており、果樹栽培の新規就農者の確保が急務となっている。そのような中、西松浦農業改良普及センターは昨年度から新たな取り組みとして、関係機関と連携して「キウイフルーツ就農セミナー」を開いている。写真。

8月3日付
全国農業新聞

西松浦地区
キウイフルーツ就農セミナー
関係機関が連携
栽培サポートも



市町・JAの広報誌や新聞で開催を告知し、キウイフルーツの栽培導入に関心がある6人が参加した。栽培概要などの室内研修に加え、キウイフルーツ生産者の園地見学と意見交換を実施した。

同セミナーをきっかけに、2人の参加者が栽培を開始。先輩農家や関係機関が栽培技術をアドバイスするなどサポートしている。同センターは本年度もブドウとキウイフルーツの就農セミナーを9月に開く予定。新規就農者の確保に向け、関係機関と連携し、継続的に取り組んでいる。(情報提供：西松浦農業改良普及センター)

☆「農業委員・推進委員1人・1年・1部純増」運動を確実に実施

☆戸別訪問や畦ばた会議、日常の相談活動等で普及推進

◎今年度の佐賀県の記事は25本

2週に1回ペースで佐賀の記事が読めます

ご協力をお願いします！！

7. 常設審議委員会結果（H30年7～8月）

農地法第4条及び第5条の規定により県農業委員会ネットワーク機構に意見を求められた案件について、常設審議委員会において審議しました。第28回、第29回の件数及び面積については、以下のとおりです。

〈農地法関係処理状況〉

○審議件数

第28回	7月17日	第4条	2
		第5条	10
第29回	8月16日	第4条	2
		第5条	5

○田畑別件数及び面積

回数	開催日	区分	田		畑		計	
			件数	面積	件数	面積	件数	面積
第28回	7月17日	第4条	1	4,112	1	6,592	2	10,704
		第5条	9	59,380	4	9,111	10	68,491
第29回	8月16日	第4条	1	7,166	2	4,240	2	11,406
		第5条	4	27,264	2	3,713	5	30,977

※田・畑の混合案件があるため、件数の計が一致しない。

8. 今後の行事予定

月	日	時間	場 所	内 容
9	12	13:30	千代田館	農業者年金担当者研修会
	14	13:00	川副町	稲作経営者会議現地研修会
	18	13:30	グランデはがくれ	第30回常設審議委員会
10	5	14:00	みやき町	三神地区農業委員会職員研修会
	10	14:00	嬉野市	杵藤地区農業委員会職員研修会
	15	13:30	グランデはがくれ	第31回常設審議委員会
	15	13:30	グランデはがくれ	九州ブロック農業振興地域制度に係る研修会
11	13	13:30	東京都	平成30年度全国農業委員会職員研修会